

技術力向上研修の一環として

「耐震型補強金具による非耐震ダクトイル管の 継手補強工法」に係る 講習会を開催



ターゲット 6. 1

2026 年 7 月 21 日

郡山市上下水道局

総務課

課長 小山 隆

TEL : 932-7683

SDGs ターゲット 6.1 「安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する」

人口減少やインフラの老朽化が進む中、水道管の耐震化は、優先度が高く、効率的に取り組む必要があります。

また、耐震化の手法としては、これまで布設替えが一般的でしたが、近年、管体が健全であれば、継手部に補強金具を設置し、耐震化を図る技術が開発されています。

このため、耐震補強金具の使用目的や特徴を学び理解を深めることは、効率的な耐震化を進めるうえで貴重な機会であり、今後の設計業務に役立てるため、同講習会を開催します。

1 日 時 7月28日(火)

午前の部 10:00 ~ 90分程度

午後の部 13:30 ~ 90分程度

※内容は2回とも同じです。

2 会 場 郡山市上下水道局庁舎 5階大会議室 (郡山市豊田町1番4号)

3 参加者 こおりやま広域圏市町村及び郡山市上下水道局職員 (合計60名程度)

4 テーマ 耐震型補強金具による非耐震ダクトイル管の継手補強工法

5 講 師 大成機工株式会社 仙台支店 捨田利 義央 (しゃたり よしひさ) 氏
[講師略歴]

2016 年 株式会社大成機工 入社。

技術サービス部門に配属となり、設計・技術業務に従事。

2021 年 東京支店配属。

2024 年 仙台支店配属。現在に至る。



<耐震補強金具 主な特徴(従来の布設替えとの比較)>

- ・掘削は継手部分のみとなり、工期も短縮できる。
- ・布設替えが困難な場所にも対応できる。

このように、既設管路が、耐用年数を十分残している場合は、暫定的ではあるが、可及的速やかな、耐震化が期待できる。